



神戸納税協会 会長
株式会社ワールド 創業者
はたさき ひろとし
畑崎 廣敏氏

昭和11年、淡路島に生まれる。兵庫県立洲本実業高等学校卒業後、セーター卸問屋に入社。昭和34年、故木口衛氏らと共に株式会社ワールドを設立。昭和47年9月、代表取締役社長に就任。平成9年6月に代表取締役社長の職を譲って以降は、自らの意思で会長や相談役等、社内一切の役職を辞退。

<株式会社ワールド>

設立/昭和34年1月13日
資本金/180億1,000万円
従業員数/2,019名
事業内容/婦人・紳士・子供服の企画販売

連結子会社/ワールドインダストリー、ワールドプロダクションパートナーズ、ワールドインダストリー福島、ワールドジャパンサプライをはじめ、国内外に17社



株マヤジマ
07.12.24
宮嶋

「努力は決して人を裏切らない」

経験に基づいた強い信条を貫く

ゴルフは最高のスポーツ

まずは「趣味からうかがいたいのですが」

「あんなおもしろいものはない」、そう思っているゴルフです。一度として同じようにはいかないので、退屈することがありません。喜怒哀楽が凝縮された、最高のスポーツだと思いますね。

考えた人は本当にすごい…。頭も結構使いますしね。

腕前はどれくらいですか。

一時はハンデイ7までいきましたが、2年前に脳出血で右手右足が動かなくなっていました。もう一度ゴルフをやりたい一心でリハビリを続け、今はハンデイ20。これを何とか10にしようとして、週2回のゴルフを自分に課しているところなんです。ゴルフでいいスコアを出そうと思えば、食事や睡眠時間に

も自然と気を遣います。これからの高齢化社会、医療費も高くなるし、寝込まないことが大切です。

2年間でここまで回復されただけでなく、さらにスコアを伸ばそうという前向きさが、若さの秘訣なんですね。10月で71歳になりましたが、どうです、60歳代前半にしか見えませんか。(笑)。「努力は人を裏切らない」、「まだまだこれから」、これが私の信条です。

経営は「継業」であるべき

「努力は人を裏切らない」という会長の強い心情は、どのようにして生まれたのですか。

私が高校を卒業した昭和30年当時は、大変な就職難でした。やっとの思いで受験資格を得た都市銀行を最終面接目で不合格となったときは、心底途方に暮れました。その後、恩師のおかげで何とかセーターの卸商に雇ってもらうんですが、このとき、「就職したらどこであろうと、誰よりも必死に働く」覚悟が固まりました。実際、人の2倍3倍とガムシヤラに働き、荷造りの小僧からわずか4年で、営業や企画など社長以外の仕事はすべてやらせてもらいました。「努力すれば叶わないことはない」ことを、身を持って経験したわけです。今思うに、就職難が私にはラッキーでした。好きな会社に苦勞なく入れる時代だったら、あそこまでの覚悟ができたかどうか…。

そうして生まれた信条が、ワールドという企業をここまで成長させた原点でもあるんですね。

幾多もの試練がありました。真剣に考え、必死で頑張れば、そのときどきでいいアイデアが浮かび、乗り越えられるものです。逆にどんなに優れた才能や能力があっても、真剣さや必死さが足りなければ、十分に発揮することはできません。「真剣さ、何が何でもという必死さに勝るものはない」、私はそう信じています。

60歳で社長の椅子を譲り、一切の役職を退かれたのも、真剣に考え抜かれた上での選択だったんですね。

ずっと右肩上がりできたワールドの業績が、当時、横ばいになりました。人間は山形のカーブを描いて一生を終えますが、会社の一生がそれと同じでは困ります。ずっと右肩上がりを続けるにはどうすればいいか、あれこれ悩んでいるときに、経営者がピークに達した時点でバトンタッチしていけばいい」と閃いたのです。つまり、会社の経営は、継いで栄える「継業」にすべ

きだと…。それで伸び盛りだった今の社長に、一切を引き継ぐ決心をしました。それにしても、「継業」とはうまくいかなかったら、自分で感じているんですよ。(笑)。

まだまだバイタリテイあふれる会長の今後の目標は、何ですか。

自ら考え、自らの意思で、何か社会のためになることをしたい、そう思っています。それが何であるかは現在模索中。人生、「まだまだこれから」ですから。ただ、人間の一生は有限であり、それを意識すべき年齢であることも事実。その有限の中で、精一杯努力していくつもりです。

では最後に、納税協会の会長としての抱負をお聞かせください。

企業であれ、団体であれ、社会や時代に必要とされる存在であり続けるには、常に改革の精神を持ち合わせなければなりません。納税協会についても、会員の方々の協力を得ながら見直すべき点は見直し、さらにその存在価値を高めていけるよう頑張っていきたいと思えます。